

(平成24年10月分)

部 門	市況の概要
野 菜	10月期の野菜の入荷状況は、多くの品目で、概ね作柄良好であったことから入荷増となった。葉菜類では、ハクサイが需要の減退の影響により入荷減、果菜類では、トマト、ナスで切上がりを迎えた産地があり、品薄であったものの、前年の入荷量が著しく少なかったため、入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年同期を5%上回った。 価格は、多くの品目で入荷増により単価安となった。葉菜類ではハクサイ、キャベツが需要の低迷により単価安、果菜類ではトマトが品薄により単価高となった。野菜全体としては前年同期を13%下回った。 品目別には、西洋ニンジン、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、バレイショ、タマネギが入荷増の単価安、ハウレンソウが入荷、単価ともに前年並み、キャベツが入荷前年並みの単価安、長ダイコン、ハクサイが入荷減の単価安となった。 根菜類は、入荷が前年並み、価格は29%安となった。 葉菜類は、入荷が4%減少し、価格は19%安となった。 果菜類は、入荷が12%増加し、価格は10%安となった。 土物類は、入荷が18%増加し、価格は17%安となった。
果 実	10月期の果実の入荷状況は、多くの品目で、前月の入荷遅れが今月にずれ込み、入荷増となった。果実全体の入荷量は、前年同期を10%上回った。 価格は、多くの品目で入荷増により単価安となった。果実全体では、前年同期を10%下回った。 品目別には、津軽リンゴ、ふじリンゴ、刀根・平核無柿、巨峰、アールスメロンが入荷増の単価安、ミカンが入荷前年並みの単価安、富有柿が入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が前年並み、価格は10%安となった。 リンゴ類は、入荷が24%増加し、価格は20%安となった。 柿類は、入荷が3%増加し、価格は16%安となった。 ブドウ類は、入荷が50%増加し、価格は18%安となった。 メロン類は、入荷が14%増加し、価格は10%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン 西洋ニンジン	北海道を中心に、石川県、青森県、岩手県、兵庫県からの入荷。 主力の北海道産で、生産面積の減少のため、全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、需要の低迷により、前年同期を35%下回った。 北海道を中心に、中国、青森県からの入荷。 主力の北海道産で、前月の品質不良から回復し、太物傾向の入荷となったため、全体の入荷量は、前年同期を11%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を32%下回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ	長野県を中心に、茨城県、滋賀県、大分県、鹿児島県からの入荷。 主力の長野県産でおおむね生育は順調であったが、前月に前進出荷したこと、また、一般需要の低迷及び業務・加工需要の減退により、全体の入荷量は、前年同期を13%下回った。 価格は、一般需要の低迷及び業務・加工需要の減退により、前年同期を43%下回った。 群馬県を中心に、長野県、茨城県、愛知県、滋賀県からの入荷。 各産地とも、好天により作柄順調であったものの、全体の入荷量は、入荷量が多かった前年同期並みであった。 価格は、一般需要の低迷及び業務・加工需要の低迷により、前年同期を50%下回った。 岐阜県を中心に、京都府、滋賀県、鳥取県、和歌山県からの入荷。 主力の京都府産、滋賀県産で高温の影響により入荷遅れがあったものの、他の産地で前年以上の入荷があったことから、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、前年同期並みであった。
レタス 【果菜類】 キュウリ ナス	長野県を中心に、茨城県、兵庫県、長崎県、徳島県からの入荷。 主力の茨城県産で、好天に恵まれ大玉傾向であったことから、全体の入荷量は前年同期を22%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を15%下回った。 滋賀県を中心に、北海道、群馬県、京都府、福岡県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を14%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を16%下回った。 高知県を中心に、京都府、徳島県、岡山県、奈良県からの入荷。 多くの産地で、切上がりを早く迎え、天候不順による作柄不良

	があったものの、前年の入荷量が台風の影響で少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を27%下回った。
トマト	岐阜県を中心に、北海道、滋賀県、福岡県、茨城県からの入荷。 多くの産地で、切上りを早く迎えたものの、前年の入荷量が著しく少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を8%上回った。 価格は、品薄状態が続いたことから、前年同期を10%上回った。
ピーマン	茨城県を中心に、大分県、兵庫県、高知県、宮崎県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったこと、主力の大分県で、葉タバコから転作による面積の増加により、全体の入荷量は、前年同期を26%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を36%下回った。
【土物類】	
バレイショ (メーク含む)	北海道を中心に、青森県からの入荷。 主力の北海道産で、収穫前の高温と降雨の影響で品質の低下がみられたが、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を24%下回った。
タマネギ	北海道を中心に、兵庫県、中国、京都府からの入荷。 主力の北海道産で、大玉傾向であったため、全体の入荷量は、前年同期を24%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を22%下回った。
【その他野菜】	
松茸	国外は中国、韓国、カナダ、アメリカを中心とし、国内は和歌山県、山口県、京都府、岩手県を中心とする入荷。 国内産は高温・干ばつの影響で入荷は少なく、下旬に微増したものの各産地ともに不作であるが、中国産、韓国産で、入荷が順調であったことから、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を15%下回った。
栗	愛媛県を中心に、京都府、熊本県、島根県、石川県からの入荷。 多くの産地で、高温と雨不足の影響で肥大せず、作柄不良であったものの中央集散機能の発揮により、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を6%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山県を中心に、福岡県、愛媛県、熊本県、高知県からの入荷。 主力の和歌山県産で、好天に恵まれ作柄良好であったものの、福岡県産、熊本県産は大雨の影響により入荷が減少したことから、全体の入荷量は前年同期並みであった。 価格は、小玉傾向による単価安から、前年同期を10%下回った。
津軽 （サン含む）	青森県を中心に、岩手県、北海道、長野県からの入荷。 多くの産地で、前月の着色遅れにより、今月の出荷にずれ込んだため、全体の入荷量は、前年同期を85%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を13%下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心に、長野県、山形県からの入荷。 多くの産地で、着色遅れ、品種間切り替えのずれ込みにより、今月の後半に入荷が集中したことから、全体の入荷量は、前年同期を14%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を16%下回った。
富有柿	奈良県を中心に、福岡県、京都府、和歌山県、山梨県からの入荷。 各産地とも、高温の影響により着色遅れがみられたため、入荷量は、前年同期を35%下回った。 価格は、多品種で入荷増であったこと、また、需要の低迷から、前年同期を15%下回った。
刀根・平核無柿	和歌山県を中心に、福井県、奈良県からの入荷。 各産地とも、好天により作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を14%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、着色不良等品質の低下がみられたことから、前年同期を17%下回った。
巨峰	長野県を中心に、山梨県からの入荷。 各産地とも、大房傾向で作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を64%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を12%下回った。
アールスメロン	茨城県を中心に、静岡県、熊本県、石川県、高知県からの入荷。 多くの産地で、品質の低下がみられたものの、全体の入荷量は、前年同期を10%上回った。 価格は、下位等級の入荷が多かったこと、また、入荷増であったことから、前年同期を22%下回った。

